

自治体の課題、現状

- ・本市の人口は10年前と比較して2万人程度増加しているが、生徒数は約2,000人減少している。都心部ではその影響は小さいが、地域によってはその影響が大きく、部員数の減少だけでなく、廃部も増えている。
- ・地域移行の取組の現状は、令和3年度からモデル事業を実施し、令和5年度から実証事業を開始し、今年度は、兼職兼業や人材バンクを活用しての指導者確保、クラブ数を大幅に増やすとともに、合同クラブも積極的に実施した。
- ・地域移行を進める上での課題は、部活動の代替えとなる地域クラブの運営主体・指導者の確保などがあげられる。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	54校	全生徒数	22,054人
域内の部活動数	536部活	実施した地域クラブ数	44クラブ
全体の指導者数	113人	全体の運営スタッフ数	19人
主な運営団体	民間事業者またはスポーツ協会		
主な種目	野球、サッカー、バレーボール、卓球、バドミントン、陸上競技、ソフトボール、剣道、ソフトテニス、新体操、柔道、バスケットボール		
平均的な活動回数	30回/年	年間平均参加生徒実数	3年：0人/クラブ 2年：12人/クラブ 1年：11人/クラブ
参加会費	0円	主な活動場所	千葉市立中学校

地域移行関連の取組、成果

- ・部活動の代替えとなる地域クラブを設置し、指導者の確保・研修からクラブの運営までを民間事業者へ委託する実証事業を実施。
- ・指導者の確保にあたっては、人材バンクを活用するとともに、バレーボールについては、**地元企業と連携し、企業内サークルの部員を指導者として確保**。
- ・少人数で十分な部員数を確保できない学校・部活動について、**近隣校と合同での野球クラブ・サッカークラブ等をを設置し、2校の生徒が合同で参加**。
- ・実業団野球チームや元プロ野球選手による技術教室、指導者の所属する大学サークルとの合同練習など、**部活動では体験できない機会を提供**

運営体制図

